


ビジネスコミュニケーション学部 ビジネスコミュニケーション学科
教授 井上 寛 INOUE Hiroshi
専門・活動分野 観光学、社会学、ユニバーサルツーリズム
最新の研究内容
テーマ：地域社会に根ざした持続可能な観光モデルの構築
研究/活動紹介
①福井県における心のバリアフリー認定制度普及支援

観光庁が創設した「観光施設における心のバリアフリー認定制度」は、高齢者や障害者を含む多様な旅行者が安心して観光できる環境整備を目的としています。認定施設はバリアフリー対応やサービス改善の取り組みが可視化され、利用者にとって信頼性の高い選択肢となります。しかし福井県内では登録件数が伸び悩み、宿泊施設全体のごく一部しか認定を受けていないのが現状です。背景には、申請手続きや書類準備、情報発信の負担が大きいこと、さらにオンライン申請の難しさが障壁となっている点が挙げられます。結果として制度の意義は理解されていても、申請に踏み出せない事業者が少なくありません。今後は行政や観光協会と連携し、申請支援や相談体制を整えることで事業者の参加を促進することを目指します。具体的には、講習会の実施や申請書類作成のサポート、情報発信の工夫を学生のフィールドワークと組み合わせて提案し、観光事業者が制度に参加しやすい環境を整えます。これにより認定取得が進み、観光施設のブランド価値や信頼性が向上し、インバウンド対応力やバリアフリー観光への配慮が地域全体で可視化されます。

<高校教諭向け観光ビジネス講演>

②観光学を基盤とした高校教育支援と地域連携

北陸新幹線敦賀延伸を契機に福井県の観光ニーズは高まり、人材育成の重要性が増えています。高校商業科に新設された「観光ビジネス」科目は、地域資源を活用した観光の企画やツーリズム産業の理解を目的としています。教材や指導法は整備途上です。そこで観光学の知見を活かし、理論と実践を結び付けた地域社会との連携を重視した教育支援を行います。観光社会学の視点を取り入れ、調査演習やインタビュー調査を組み込んだ実践型学習を展開し、生徒は現場に関わりながら企画力や調査力を養い、観光資源の社会的意味や観光客の行動様式を理解します。こうした学びは、教育と地域振興を結び付け、観光人材育成にも直結します。さらにユニバーサルツーリズムの視点を導入し、多様性や持続可能性への理解を促すことで、観光産業に必要なインクルーシブな意識が育成できます。これらの取り組みは高校生が地域資源を再発見し、観光を通じて地域課題の解決に主体的に関わる学びを深めるとともに、観光業界で活躍できる人材育成につながります。

<ハートフル専用駐車場>

産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

観光庁「心のバリアフリー認定制度」への登録支援の一つの柱としながら、事業者や教育機関から寄せられるさまざまなご相談に対応させていただきます。具体的には、認定取得に向けた研修の実施や申請書類作成の補助、情報発信の工夫など、制度参加に関するサポートを行っています。また、観光施設のバリアフリー対応やインバウンド戦略の改善、学校教育における観光をテーマとした探究型学習やフィールドワーク支援、地域資源を活用した観光企画や人材育成プログラムの共同設計などについても、可能な範囲でご相談を承っています。

学会・経歴

日本観光学会 会員
 日本社会学会 会員
 観光まちづくり学会 会員
 日本福祉のまちづくり学会 会員
 中部人間学会 会員
 北陸観光研究ネットワーク 会員

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp